

北見赤十字病院 市民公開講座

“がんについて考える”

がんサロン開設10周年記念講演

がんサバイバー同士による 体験の語りと傾聴が持つ力

がんと診断されたとき、多くの患者さんやご家族は衝撃を受け、不安や孤独感に襲われます。また、治療をしていく中で、苦しみや再発・転移の恐怖と向き合っていかなければなりません。そのような心身ともに大きなストレスを感じている時に、同じ病気や経験をした人の話を聞くことで、「自分ひとりじゃない」と孤独感が和らぎ、気持ちが少し楽になることがあります。

今回は、がん患者さんにご家族から闘病中に感じていたことや悩んだことなどについて語っていただくことで少しでも多くの方に共感いただければと思います。是非ご聴講下さい。

司会

北見赤十字病院 保健福祉係長
ソーシャルワーカー

堀 健太郎

演者

乳がん患者 女性 / 肺がん患者家族 女性
精巣がん患者 男性

開催日時

平成31年2月27日(水)

開場17時30分 開演18時00分～19時00分

会場

北見赤十字病院北館1階多目的ホール ミント

※上靴、スリッパなどご持参下さい。

申し込み

不要(直接会場へお越し下さい。)

**参加費
無料**

主催:北見赤十字病院 後援:北海道新聞北見支社

【お問い合わせ】北見赤十字病院 がん対策推進室

TEL(0157)24-3115(内線2209)担当 / 伊藤